

こどものせかい

別冊 にじのひろば 付
定価 370円

4月号 かみさま おてつだいしまーす！ 葉 祥明・絵と文



この世界をつくられた神さまから、私たちはたくさん
の美しいおくりものをいただいています。生かされ
ているすべての生命。私たちにできる神さまの
お手伝いは…。子どもがはじめて神さまに気が
つく、4月号にふさわしい絵本です。



5月号 だったら いいな いもと ようこ・絵と文



「ぼく にわとりさんだったら いいな」「ねこさん
だったら いいな」。子どもたちの「だったらいい
な」という無邪気な願いが想像力いっぱいにく
らんで… “おたがいの気持ちになれたらいいな”
という大切な想いにつながります。



6月号 むぎが みのった 佐久間 彪・文 矢野滋子・絵



子どもの時から麦の種まきを見ていらしたイエスさまは、
大人になってから、みんなに教えてくださいました。「よく
耕した畑のような心で、神さまの言葉をききなさい。そうし
たら幸せの実がいっぱい実りますよ」と。新約聖書より。

7月号 おはなの おんなのこ 古内ヨシ・絵と文

にっこり笑う、お花のような女の子。今日はおしゃれをして、
どこへおでかけするのでしょうか。女の子が歩いて行くと、
出会ったもの、なにげない日常のひとこまが、きらきらと
輝く一瞬に……。

8月号 どんくまさん うみへいく 柿本幸造・絵 蔵富千鶴子・文

どんくまさんが、生まれてはじめて海へ行きました。船乗り
になりたくて、うさぎの貨物船に乗りこんだ どんくまさん
ならではの、大活躍と大失敗をお楽しみください。どんくま
さんシリーズの初期の作品です。

9月号 ヤコブと てんのはしご 三好碩也・絵と文



エサウとヤコブは性格が反対なふたごの兄弟。おとなしいエ
サウと元気なヤコブ。ついにけんか別れをしてしまいます。
でも、夢で天使がみんな仲よくするのを見て…。平和な気持ち
を伝えます。旧約聖書より。

10月号 かみさま きいてて 近藤えり・絵と文



子どもの想像力は、あつというまに、どこまでもひろがって
いきます。のびやかな心がみつける、たくさんの宝物。ちいさ
な発見が種となり、おおきなおおきな花を咲かせ、たっぴり
と実をつけることでしょ。

11月号 ふるい とけいの いるところ 山崎優子・絵と文



むかしむかしから、ずっとそこに、そのお家はありました。
古いお家の、古いお部屋の、古い時計や古い本たちも、ずっと
ずっとそこにありました。はじめて会ったはずなのに、どう
してなつかしくてたまらないのでしょうか。

12月号 やまの クリスマス つるみ ゆき・絵と文



山の奥にある、一本のもみの木。嵐から山猫の子を助け枝が
曲がってしまいましたが、いつかクリスマスツリーになるの
を夢見ています。山猫は、もみの木の願いであるクリスマス
ツリーを見てみたくなり……。あたたかいクリスマスのお話。

1月号 あたらしい おともだち 馬嶋共栄・絵と文



女の子はお店で、かわいいお人形と出会いました。どうして
も欲しくなった女の子は、お家にいるぬいぐるみたちと相談
して、お母さんのお手伝いをすることにしました。子どもの
素直な気持ちが、やわらかな絵から伝わります。

2月号 なんだか なんだろう 篠崎三朗・絵と文



神さまからいただいた無邪気な想像力と創造力の絵本作りと
なるでしょう。なにが誕生するか、ご期待ください。「子供
のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入
ることはできない」(ルカによる福音書 18:17)

3月号 げんきの はた 牧村慶子・絵 高木さんご・文



冬眠からめざめたくまさんが窓をあけると、いいにおいがして
きました。外に出てさがしていると、黄色い旗がばたばたと
揺れているお家があって…。いいにおいは、なあに？ 黄色い
旗は、なあに？ 心に春の香りが広がります。

別冊 にじのひろば おとうさま おかあさま 先生がたに—

細井保路神父、城貴司、まつむらまさこによる連載エッセイ、Sr. 景山
あき子のおいのりのほか、特集ページなど、育児や園生活のあいまに
ほっと一息ついていただける文と画を集めた小冊子です。

かみさまにはじめて きがつく えほん

えほんを通して、こどもたちが神さまにきづくたすけや
きっかけになるよう、このマークのついた絵本は、とくに
神さまへの思いを深くこめて制作されています。

